

沖縄県知事 仲井眞 弘多 殿

辺野古埋め立てを絶対に許可しないでください

私たちは、日米両政府が「普天間基地の固定化につながる」などというもっともらしい理屈で、名護市辺野古への最新鋭且つ巨大な基地を日本国民の税金でもって建設することは絶対に許されないと考えています。辺野古への基地移設は、沖縄の米軍基地化を半永久的に認めることにもつながり、平和で基地の無い沖縄の実現を願う沖縄の皆さんの願いとは決して相容れるものではありません。沖縄にとっての基地問題は…そして特に危険極まりない普天間基地の撤去は、完全なる無条件返還こそがその実現への道であり、将来の基地の無い沖縄への第一歩となるはずです。

確かに、基地をめぐる政治的な情勢は厳しいものがあります。だからこそ、私たちは日本国民はもとより、アメリカを含む世界の市民の良心とともに、大きな世論で基地推進派を包囲し、市民の力で普天間基地の無条件全面撤去に全力を挙げる所存です。

私たちは、仲井眞知事に「普天間基地を返還させたものの、沖縄の基地化を半永久的に認めた知事」という汚名を着せたくはありません。この間の選挙をはじめ、何回も開催された県民集会などにおける県民の総意を踏まえて、そして、過去何度も繰り返し、時には泣き寝入りも強いられてきた危険と隣り合わせのくらしの大元を断ち切るきっかけにする為にも、国の公有水面埋め立て承認申請を不許可とするよう断固として要請します。

2013年12月16日

生協労組おかもやま

委員長 坂本 浩

